

理想的耐水耐熱接合劑
キングパスト

●水が微温湯で溶せばすぐ使へる簡単な接着劑
一名コナニカワ
●四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的
●理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し

スター好ナフ
トール 着尺
ナフトール實
用向フトン地
秋物 入荷
平町
龜田屋
電五七

外科 婦人科 内科 × 光線科

外科一般
花柳科
婦人科
婦人科
婦人科

平町字田町
泰富病院
(電話四七五番)

肉聲其まゝの高級
ビクターレコード枚100錢
日本物音樂
蓄音器針は
ビクター針先 50錢
一度御試聴下さい

蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四(電三六三)

御大禮記念セイコー抽籤特賣

賞品總額拾壹萬參千圓

品賞
一 壹百圓 (債券) 五十本
二 五十圓 同 五十本
三 十圓 同 五百本
四 五圓 同 五百本
五 同 同 五百本

國民の擧つて奉祝する御大禮は近づきました。此の曠古の御盛儀を記念するために國産セイコー腕時計の抽籤特賣を發表致します。永く保存が出来御使用に便利な絶好の記念品として御薦め致します。

特約店 **大谷時計病院**
平町三丁目(電話一九番)

御進物には
ヤマフルの商品券が一番

醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部) 一〇番
(醸造工場) 二七番

いいた 衛生的
な 多養滋
ンバ き多養滋

食パン一斤十六錢
レモン 一ツ
ミヤマ 五錢
ジャム 一ツ
本パン 一ツ
松本パン 一ツ
ウヅマキ 一ツ

極上小倉製半ズボン上下
一二年用...一圓九十錢
二三年用...二圓十錢
三四年用...二圓三十錢
四五年用...二圓五十錢
五六年用...二圓七十錢
高等科用...三圓十錢
中學生用...三圓五十錢
秋冬帽子各種取揃

目丁四町平
ヤトモツマ
番四一二話電

方子様方 秋の御用意

幸福印
通學服の特價提供

平町五丁目(電話三五三番)
モリタヤ洋品店

蒲鉾 賣出し廣告

夏期氷水販賣中は御引立に預り豫期以上の盛況を見て終了するに至つた事を厚く御禮申上げます。今回氷水販賣終了と同時に例年の如く**蒲鉾製造を開始**致しましたから倍舊の御用命の程懇願致します。

蒲 (材料精選、風味絶佳)
さつぷあけ (お土産品として一人一個六十錢外數種何れも体裁優美)

御大典記念全國商工博覽會於銀盃受領
平町二丁目 電話三〇五番 **藤市蒲鉾店**

外科新設 部長 **藤本順**

右診療を開始す

婦人科 院長 **木村寅次郎**
右從前通り診療

平町新川町 **木村醫院**
電話一六四番

内小兒科 (需應院入) 平町紺屋町
藤沼醫院
電話四五〇七番

常富新聞

定部金五錢
一ヶ月廿五錢
三ヶ月七十五錢
半年一百五十錢
一年三百錢

廣告(五號十二行) 一週五錢
一週十錢
一週十五錢
一週二十錢
一週三十錢

休刊日 日曜大祭
日祝日
日祭日

福島縣郡市町村長協同三三五
發行所 常盤毎日新聞社
電話六〇番三

刊夕日二月十

家庭講座
兒童に及ぼす
童話の感銘 (三)

川崎小鳥講述
仙台放送局の講演速記

「童話」と云ふ言葉は、「わらべもの語り」として徳川時代には盛んに使はれました言葉であります。嚴谷小波先生が處女作『黄金丸』を皮切りに盛んにお伽噺の書物を刊行する様になりました。『童話』に代るに「お伽噺」の名稱を以つてする事になり、夫れ以來「お伽噺」の名稱は子供の興味の中心となり、至つたのであります。其處でゴロの似通つて居ります處より子供の世界に理解を持たぬ大人の中には「オドケ噺」或は「オトシ噺」等と恰も同一なもの、如く心得て居た方もあつた様で御座います。が、全々夫れとは性質が似ても似つかぬものなのであります。

「お伽噺」の「伽」とは夜の徒然なるまゝに待つて話の相手などをする事でありませう、されば、夕食後の一家團樂に、子供を中心として種々興味のある話を語り合ふと云ふ小意味をこめたいのが、とりも直さず「お伽噺」となつたのであります。す、でありますから「お伽噺」と「童話」とはその本質に於てへだたりがないと考へても別に間違ひはないのであります。

これから童話の本質に就いて申上げる事が、私の話の順序と思ひます。

童話の本質は、子供に「ア、面白いア」とその興味を満足せしむべき處に第一の生命があり、また何れにも束縛や拘束を受けぬまことに自由な天地に子供の魂を遊ばせしめ躍らむる處に童話の特徴があるのであります。

(續)

日刊 發行兼編輯人 川崎文治

本社 同番地(電話六三〇番)
印刷所 常盤毎日印刷所

好間軌道は……

大体廢止の意嚮

重役會で電化説も有力

平町好間軌道株式會社が現在に於ける經營上の不振を打開する爲めに平好間に於ける軌道を廢止するに至るものと噂されてゐたが

同會社で は三十日

重役會を開いて此の軌道廢止問題について協議を重ねた此の軌道が營業不振に陥つた原因は炭礦の不況で一般經濟界の影響自動車運輸開始の三つに依るので收支の償ない状態にあるため

軌道を廢止し同會社の持つてゐる平好間間の自動車運轉權利を善用すべく自動車の車臺數を増す事に大体重役會の意見も一致を見てゐる然し茲に問題なのは敷設當時十數萬圓を投じた軌道も現在之を賣却するとすれば一萬圓臺にて評價せねばならない事である

た處を平署柴崎刑事が逮捕した同人は以前にも前記大野方より數回に亘つて現金を窃取したが被害者大野は屢々の盜難に妻の處爲であつたと疑ひ昨日大喧嘩を爲し夫婦別れを爲したのであつたと

三名の強盜に襲はれたと偽る

領收書を落した配達夫の苦しい申譯け……

平町白銀町吉田新聞店配達夫石城郡四倉町生れ松本一郎(二)假名、は去る廿八日午後七時頃石城郡鹿島村にて新聞代を集金しての歸途三名の強盜に襲はれ「金を出さねば殺すぞ」と脅され現金を強奪されたとの事に平署は嚴戒中の處、一郎の申立てに怪しい節があるのを嚴重取調への結果強盜に逢つた等とは軍つ赤い偽りで實は途中で領收書を遺失して集金が出來ぬ爲め申譯けがなく偽りを申立てたこと判明、本日猪狩署長から懇々説諭されて前非を悔いた

平署列車警戒大演習にて

近く岩手縣下に行はるる陸軍特別大演習に陪觀又は參觀のため要路の人々が常警線を経由して頻繁に往復するので平署では萬一を慮り十月一日より平、原町間往復線列車内の警戒に従ふ等

屢々の盜難に

女房がトング濡衣

喧嘩の末に夫婦別れの翌日眞犯人捕る

石城郡植田町字本町渡邊義太郎(一)假名、は昨日午後五時頃肩書地雜貨店大野數郎方の不在中を奇貨とし裏

相變らず

色が黒いのが

木村代議士恐縮の巻

代議士の木村清治さんはお顔の色が眞つ黒いので有名でござる、なんせお初の帝國議會で政友代議士會の席上

田中首相が尋ねて曰く「顔の黒い男は誰かのおう」「あれは福島縣の木村清



松露豆腐焼

「おう久しいのう。相變らず顔の色は黒いのが。君は婦人科の醫者なそうだのう」とやられて木村さん漆黒のお顔をさすつて「……」

豆腐半分、白胡麻五勺、片栗粉盃一杯、食鹽少々、附合せとして青ずき一本、粒椎茸(小さいの)十個、だし五合、白胡麻をよく摺つた中に

手癖の悪い少年犯捕る

住所不定石城郡高久村大字山口字藥師前生れ無職吉田正三(一)假名、は去月十七日夜十二時半頃同郡湯本町大字湯本字三國古物商菅原勇之助の物置内に干して置いたセルの夏外套一枚(代金八圓廿錢)を窃取した事其筋に探知され目下餘罪ある見込みにて取調中であるが同人は殆んど常習的に竊盜を働いて居たと

中川善之助氏の講演午後陸上競技會を催す等て地元植田小學校では準備を急いでゐる

磐崎村よ

婦人農事修養會

石城郡磐崎村では婦人農事修養會といふ珍しい團體を組織すべく準備中だつたがいよいよ三日午後一時から同村小學校で發會式を舉ぐることになつた同組織の目的は婦人の徳操向上と農事思想の普及婦人農事改良等がこの種團體は縣下ではこれが皮切りである

青年團總會

七日植田町に

石城郡第一區植田方部二町六ヶ村聯合青年總會は七日午前九時半より植田小學校に開催午前は東北帝大教授

きんで包んで水氣を去つた豆腐を入れ、よくすり、片栗粉、食鹽を次々に入れてよくすり、それを梅干大に丸め、胡麻油で狐色になる迄揚げ、笹にあげ、ざつと湯をかけて油を取り、粒しい茸は水につけてふやかし(急ぎの場合でも湯では駄目)青ずききは生の儘皮を

近頃の平眼につくのほ

カフェーと小料理店

實情に多少の注意を

炭礦と海洋を控へる東北の關門都市大平町とあるだけに近年の發展振りは中々に素晴らしいといふべきだ市内に常住の人々にはたいした變化を認め得ず不景氣の聲そのまゝに平町は暗いやうな感じにひたつてゐるけれど

他地方

よりの入來者に映じた觀察では近年全く面目を一新し大通筋の如きは舊平町の面影を存してゐないといふまで稱するのであ

然し實際のところよりすればこれだけの發達をしてゐるが改善の實があつてゐるか水道が出来たり自動車増加したり住宅がふたりしたのみでは何となく心細く感じられる譯だ、さて近頃になつて市内で最も多くなつて來たものは何であらうか大きくばな觀測よりすると先づカフェーと小料理屋とが餘りといふほど目につくカフェーの女給には黄色い聲小料

理屋の女には鼠鳴きの合圖といつたものは町の何處へ行つても驚く程多いのである一般の需用が 増加した關係からか果實類の店舗が矢張り日増しに多くなり季節向きの飲食店といつたものにも大分の變化があるけれどもこれからは相かはらずに焼き芋屋とか黄金焼きなどが全盛を極めるであらう、大商店の變化振りは一般の趨勢に準ずるのであるから、こゝでは省略するが

前記の

如きは面目一新と見られる大平町の實情として多少注意に値するものであらう

古典色を加味した純本日風の傾向

今秋の流行色

承前 銘仙

一段と 滋味を 見せて 古典的 な要素 を濃厚 ならしめたのは銘仙だが色彩としてはローズ、茶古代紫、白茶、さび青磁、コバルトなどが加味されたものが多く純日本調とモダン調との二傾向のあるものがハッキリと目立つ何しろ銘仙といへば模様もの、需要が最も多いが純日本調のものとして新しい氣分のも

が多く而も夫が雄大な構圖を見せてゐるなどは春のものとの異つた點でそれにモダン調のものとなる油澁風を圖案したもので、これも其の構圖は一帶に大きなものであるが、それでも滋味は自然日本風の加味されたなどは面白く且つ黒地の用ゐられてゐるなどは特に變つた點で何として米國風が廢退してフランス風の高尚さの裡に飽迄も聰明さを表示したものが歓迎されるなどは需要者の方々の多くか女學生や知識的方面の方に多いからだとも云はれる (終)三井吳服店調